

何気なくテレビを見ていると、いろいろなお店が出てくる。多いのは、飲食店である。そのほとんどは、東京の話である。ここは福島である。きっと行くこともないだろうと思いながらも、つつい見ている。

この夏、お盆の期間を使って東京に行った。今までならば、どこに行こうかとあれこれと考えていた。今回は、発想を変えた。息子と娘が東京にいる。ならば、東京に行くことにしよう。宿泊代もかからない。というわけで、二人の帰省期間は例年になく短縮され、すぐに東京に戻ることもなった。

東京フィールドワークである。3日分の計画を立てた。テーマは、よく聞く場所、テレビなどに出てくるエリアをまわることである。まずは、行きたい所をリストアップした。次に効率よく巡るためのルートを考える。目的地から目的地への交通手段、移動時間は、すべてスマホが教えてくれる。便利である。昼食場所を決める。珈琲など休憩する所をとりあえず決めておく。こういった作業が楽しい。中学生も、修学旅行前に班のメンバーとああでもないこうでもない話し合っているのだろうか。

残念ながらというか、予想通りというか、東京も暑かった。覚悟はしていた。出発前に、初めて男性用の日傘を購入した。普段は持ち歩くことはないサコッシュも使うことにした。計画の立案者は自分である。案内する者はいない。常にスマホを握りしめながら家人を連れて歩いた。

フィールドワーク初日は、ほぼ計画通りに行動できた。東京に行くと、ずいぶん歩くことになる。駅の中を歩くだけでも、けっこうな距離である。宿泊場所である娘のアパートに戻り、歩いた距離をスマホで確認した。今まで見たことがない歩数だった。距離は16kmだった。この暑い中をよくも歩いたものだ。それも、夏用のサンダルである。普段は、全くといっていいほど歩いていない。そのわりには、意外と歩けることがわかった。

2日目も暑かった。昨日の疲れが残っているかと心配した。ところが、予想に反し、体は元気だった。それでも、多少の影響はあったのだろう。暑さと疲労から目的地を一つカットした。東京ならば、またいつでも来ることができるという思いがあった。この日の歩行距離は、12kmだった。

3日目の計画は存在していた。だが、親の東京観光のことを心配してくれていた息子が、どこかに連れて行きたいと、寄席を予約してくれた。幸か不幸か、台風が向かってきた。とてもではないが、フィールドワークには向かない日となった。本格的な落語を聞いたのは初めてだった。おもしろかった。勉強になった。

わずかに5日間の東京滞在だった。だが、以前よりは、東京への理解が進んだように感じた。そのせいだろうか。最近では、テレビで東京のお店が紹介されていると、そのうち行こうとしている自分がある。それだけ、気持ちの面で、東京との距離が縮まったということだろう。意外と歩けるということがわかり、変な自信をつけることができたフィールドワークとなった。チャンスがあれば、また、東京フィールドワークにチャレンジしたい。今度は、暑くない日に歩きたい。